

令和8年4月度雇用動向アンケート調査結果

広島県の雇用動向について、アンケート調査票を郵送し、回答のあった69社について集計。
なお、業務ご多忙中にも拘りませず、ご回答いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。

1. 令和8年3月新卒者採用状況について

【全員回答】

①採用あり・・・・・・・・・・55社（79%）

②採用なし・・・・・・・・・・14社（21%）

となっている。

なお、前年同期調査（令和7年4月度）では、「採用あり」と答えたところは7割で、今回調査においては、前年度より増加が見られる。

「採用なし」と答えたところは若干ではあるが、減少している。

また、採用ありと答えた55社の学歴別採用状況をみると、複数の学歴で採用したところが最も多く40社、大卒のみの採用が11社、高卒のみの採用が2社、院卒のみの採用が1社、短大卒のみの採用が1社となっている。

2. 令和9年3月新卒者採用計画について

【全員回答】

①採用予定あり・・・・・・・・・・54社（78%）

②採用予定なし・・・・・・・・・・2社（3%）

③未定・・・・・・・・・・13社（19%）

となっており、「採用予定あり」と答えたところは、半数以上を占めている。

なお、「未定」と答えたところでは、「先行きが読めない」「中途採用にて対応」との回答もあった。

3. 雇用の過不足状況について【全員回答】

①不足・・・・・・・・・・43社（62%）

②適当・・・・・・・・・・26社（38%）

③過剰・・・・・・・・・・0社（- %）

となっている。

「不足」と答えた企業を、職掌別にみると「生産」が6割程度と一番多く、次いで「営業」「管理職」の順となっている。

また、年齢層では「20～29歳」が6割を超え一番多く、次いで「30～39歳」と「40～49歳」の順となっている。

「不足」と回答した企業にその対応策を聞いたところ、約5割が「中途採用で対応」、約3

割が「新卒採用で対応」とし、「再雇用で対応」と答えたところは1割程度であった。

なお、「中途採用で対応」としたところでは、8割のところは正規雇用、2割が「パート・臨時」と答えている。

「その他」と答えたところでは、「派遣社員」「外国人技能実習生」を挙げている。

また、「スポットワークサービスの利用」の回答も見受けられた。地方都市ならではの労働市場の特徴と、相性が良いため、広島県の産業構造（製造・物流・観光・飲食等）を踏まえると大きな導入効果が考えられる。

4. 総評（事務局まとめ）

広島県の雇用状況は、「人手不足が慢性化し、採用意欲は高いが、人材の確保が難しい状況が続いている」という構図を読み解くことができる。

この結果には、「景気動向アンケート」時においても、「若年層の県外流出」「労働人口の減少」「働き方の多様化によるフルタイム志向が減少」との答えも出ていた。

今後、当協会においても“働きたい人”と“企業のニーズ”が噛み合うよう、広島県の雇用環境改善に向け、意見交換を重ねていきたい。

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計比率が100%とならない場合がございます。

●新規入会企業のご紹介をお願いいたします●

当協会では組織の拡大と強化を図るため、新入会員の勧誘に努めています。

皆様方には、ご新規にご入会いただける企業様のご紹介につき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



ホームページをご覧ください

(<http://www.hiroshima-keikyo.jp/>)